

稿 KŌCHŪ 虫

オオシマセンチコガネ徳之島の記録

小幡 幸正

オオシマセンチコガネ
Geotrups oshimanus

FAIRMAIRE は、奄美大島特産種であり、奄美諸島徳之島にも分布する可能性は強いとされていた種であるが、採集例は今までなかったものと思われるので、ここに報告しておく。

1 ♀, 徳之島三京林道,
3. IV. 1974, 下村徹採集

なお、標本は筆者が保管している。

文末ながら、この報告にあたり標本を快く提供して下さった下村徹氏、並びに標本写真に協力していただいた鈴木互氏に感謝する。

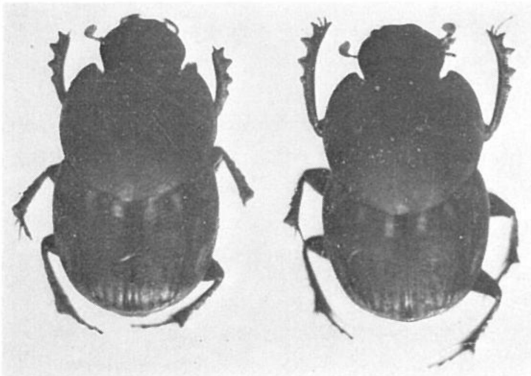
(〒151 渋谷区千駄ヶ谷3-13-12)

アカマダラエンマコガネの採集記録

楠井 善久

アカマダラエンマコガネ *Onthophagus lutosipictus* FAIRMAIRE は、上翅基部および翅端部に黄褐色の斑紋を具え、♂の前脛節は長くて内端は指状に伸長した、特徴あるエンマコガネで比較的目に付きやすい種類であるが、その記録は少ないようである。

タイプ標本は1897年、FAIRMAIRE により石垣島産のもので発表された。その後1969年竹富島において筆者が



採集したものを後藤光男氏により、詳しく記録、紹介された (Ent. Rev. Japan, XVII, 1970)。

このたび、入江平吉氏により再び石垣島において採集されているので記録しておきたい。

1 ♂ 4 ♀, 沖縄県石垣島吉原～米原, 18. IV. 1973, 入江平吉氏採集, 筆者保存

末筆ながら貴重な標本を恵与された入江平吉氏に深く感謝いたします。

(〒097 稚内市緑5丁目)

ムネアカチビナカボソタママシの

新分布記録2例

藤田 宏

ムネアカチビナカボソタママシ *Nalanda rutilicollis* OBENBERGER は本州(東京以南)・四国・九州・屋久島・三宅島¹⁾より記録され、また、翅鞘が明るいこと、および前胸背のしわの形が多少異なる点で区別される別亜種 ssp. *formosana* OBENBERGER は奄美大島・沖縄本島・石垣島・西表島・台湾より記録されている²⁾。

筆者は記録のいまだない下記2離島産の標本を所持しているので、新分布として発表しておきたい。

1 ex., 伊豆御蔵島川田, 1. VIII. 1972, 斉藤秀生採集
伊豆諸島では三宅島に次ぐ記録。翅鞘は緑青色(奄美大島・西表島の個体ほど明るくはないが、くすんではない)で、前胸背は強く赤味を帯びる。

アカメガシワの葉上で得られたとのこと。

1 ex., トカラ中之島大川, 13. VII. 1973, 伊藤正雄採集
両亜種の境にあたる記録でもあり、興味深いと思う。
翅鞘が明るい奄美大島・西表島の個体と比較すると、本個体の翅鞘はかなりくすんでおり、前胸背も強い赤味を帯びるなどの差異があった。

末筆ながら、貴重な標本をご恵与された斉藤秀生・伊藤正雄両氏に深謝したい。

1) 黒沢良彦(1973): 伊豆諸島から新記録のタママシ, 甲虫ニュースNos. 15/16

2) 黒沢良彦(1970): 日本産タママシ科解説(9), 甲虫ニュースNo. 11

(〒110 台東区台東2-29-6)

富士山で採集されたイガムツボシタママシ

藤田 宏

イガムツボシタママシ *Chrysobothris igai* Y. KUROSAWA は四国剣山を原産地とし、四国・九州・本州の山地より記録されているが、非常に稀な種で、特に本州に産する亜種 ssp. *kumagaii* Y. KUROSAWA は南アルプス二軒小屋周辺で数頭の個体を得られているにす